

はじめに

令和7年度 佐賀県小中学校校長会
研究部長 江島裕章

昨今の社会の急速な変化は、学校教育の現場にも様々な影響をもたらしています。先行き不透明で予測困難な時代、または変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字を取って「VUCA」の時代とも呼ばれる昨今、中央教育審議会答申では、我が国の学校教育と教師を取り巻く環境整備の基本的な方策として、「学校における働き方改革の更なる加速化」「教師の処遇改善」「学校の指導・運営体制の充実」を一体的・総合的に推進する必要があると示しております。そして、それら学校教育の推進と変革の舵を取る校長は、単なる組織マネジメントの役割だけでなく、広い見識と持続可能な教育に関する手立てを打ち出し、そして実行できるリーダーシップが求められております。

このような状況の変化に対し、私たち校長は、これまで以上に確固たる経営理念と学校改善に向けた強い使命感をもち、今日の教育課題や各学校の課題に、「令和の日本型学校教育」「社会に関かれた教育課程」「チームとしての学校」「働き方改革」などの視点から、会員相互が連携協力し立ち向かっていかなければなりません。

佐賀県小中学校校長会では、今年度「互いの尊重と協働のもと、しなやかさを持ち、高きに和す、存在感のある校長会」をスローガンに、大会主題「未来を切り拓き、新たな社会を創る日本人を育てる教育の推進」を設定し、研究に取り組んできました。

この研究を推進するために、今年度、県校長会研究部では、学校が直面する課題を解決することを目的に、2回の「校長会理事研修会における教育課題研修会」、そして11月の「佐賀県小中学校校長会教育研究大会」を開催しました。

ここに、それらを取りまとめた「研究紀要第57号」を発行いたします。今年度の、研修・研鑽の成果を、すべての校長先生方へ還元し、今後の更なる学校運営の充実・発展につなげていただければと思います。「研究集録」とあわせてご覧いただき、学校経営の一助とされていただければ幸いです。

最後になりましたが、全国大会や九州大会、そして「佐賀県小中学校校長会教育研究大会」において、ご提言くださった校長先生、それを支えてくださった各地区研究対策委員をはじめとする各地区校長会の皆様、ありがとうございました。そして、研究紀要発行にあたり、「佐賀県小中学校校長会教育研究大会」において、各分科会の記録を取りまとめていただいた記録者の校長先生、ありがとうございました。また、すべての校長先生方に御礼申し上げますとともに、さらなるご健勝と佐賀県小中学校校長会の益々の発展を祈念いたします。